

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月15日

上場会社名 株式会社ロブテックス

上場取引所 大

コード番号 5969

URL <http://www.lobtex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 経営管理本部長 (氏名) 山口 正光 TEL 072(980)1110

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,607	19.0	203	54.9	148	60.6	63	41.7
22年3月期第2四半期	2,190	△28.6	131	—	92	—	44	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	6.70	—
22年3月期第2四半期	4.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,143	1,835	24.8	187.91
22年3月期	6,863	1,785	25.3	184.44

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,768百万円 22年3月期 1,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,040	11.2	310	25.0	180	14.6	90	0.0	9.56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	
【第2四半期連結会計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は新興国の成長による輸出の増加や政府の経済対策効果から一部では景気回復の兆しがみられましたものの、雇用情勢は厳しく、円高が進行するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2010年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、変化を恐れず、新たな価値を創造します」を掲げ、日々変わりゆく市場ニーズ・ウォンツに即応し、新たな価値を提供し続ける体制を築くことに取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比19.0%増の26億7百万円(前年同期21億9千万円)となり、利益面では、営業利益で同54.9%増の2億3百万円(同1億3千1百万円)、経常利益で同60.6%増の1億4千8百万円(同9千2百万円)、四半期純利益で同41.7%増の6千3百万円(同4千4百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<金属製品事業>

国内売上におきまして、苦戦を強いられておりました切削工具部門は前年同期に対し、ほぼ横這いに推移し、ハンドツール部門では、圧着工具が減少いたしましたものの、万力類をはじめ、他の品種では売上が回復基調となり、ファスニング部門では工業用ファスナーが大幅に伸張しました。海外売上におきまして、ハンドツール部門では、韓国向けにモンキレンチ・プライヤ類・圧着工具が堅調に推移し、ファスニング部門では北米においてエアリーベッターが回復基調となりました。その結果、金属製品事業の合計売上高は24億7千8百万円となりました。利益面では、前年度に実施した賃金の一定率カット等の人件費削減を部分的に正常化したことによる費用の増加はありましたが、増収効果や在庫回転期間管理の徹底による売上原価率の改善、その他の経費削減により、営業利益は1億4千8百万円となりました。

<レジャーその他事業>

猛暑などの異常気象の影響により、ゴルフ練習場への入場者数が減少し、売上高は1億2千8百万円となり、営業利益は5千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ2億8千万円増の71億4千3百万円となりました。

<資産>

流動資産は、たな卸資産が減少しましたが、現金及び預金や売掛金の増加を主因に前連結会計年度末比4億5千3百万円増の40億3千2百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却による減少や長期預金の減少を主因に同1億7千2百万円減の31億8百万円となりました。

<負債>

流動負債は、短期借入金の減少はありましたが、1年内償還予定の社債及び買掛金の増加により、前連結会計年度末比1億1千8百万円増の33億2千6百万円となりました。固定負債は、社債の減少はありましたが、長期借入金の増加により、同1億1千1百万円増の19億8千1百万円となりました。

<純資産>

当第2四半期純利益の計上による利益剰余金及び少数株主持分の増加を主因に前連結会計年度末に比し5千万円増加し、18億3千5百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、4億1千8百万円増加(前年同期8千9百万円の増加)し、14億9千2百万円となりました。

キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、たな卸資産の減少、仕入債務の増加により、資金が3億5千1百万円増加(前年同期3億3千9百万円の増加)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資有価証券の取得による支出はありましたが、定期預金の払戻しによる収入により、資金が5百万円増加(前年同期1千5百万円の減少)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

社債の償還やリース債務の返済、配当金による支出はありましたが、金融機関からの借入れにより、資金が6千1百万円増加(前年同期2億3千5百万円の減少)しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、直近の業績の進捗を踏まえ、平成22年5月13日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年11月4日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績につきましては、平成22年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,492,484	1,074,107
受取手形及び売掛金	882,382	849,264
商品及び製品	987,869	1,012,758
仕掛品	279,590	276,688
原材料及び貯蔵品	259,472	278,679
その他	133,337	89,623
貸倒引当金	△2,180	△2,149
流動資産合計	4,032,955	3,578,972
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,073,851	1,106,370
土地	741,388	741,388
その他(純額)	931,391	1,001,766
有形固定資産合計	2,746,631	2,849,525
無形固定資産	66,883	78,950
投資その他の資産	295,297	352,648
固定資産合計	3,108,812	3,281,124
繰延資産	1,978	3,623
資産合計	7,143,746	6,863,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,740	169,406
短期借入金	2,129,960	2,348,560
1年内償還予定の社債	500,000	300,000
未払法人税等	50,038	28,214
その他	380,260	362,043
流動負債合計	3,326,999	3,208,224
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	1,506,034	848,738
退職給付引当金	34,417	31,388
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
その他	437,532	486,782
固定負債合計	1,981,104	1,870,029
負債合計	5,308,103	5,078,254

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	474,893	421,212
自己株式	△148,267	△148,106
株主資本合計	1,777,671	1,724,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,690	12,438
評価・換算差額等合計	△8,690	12,438
少数株主持分	66,661	48,875
純資産合計	1,835,642	1,785,465
負債純資産合計	7,143,746	6,863,720

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,190,958	2,607,140
売上原価	1,425,790	1,700,099
売上総利益	765,167	907,041
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	223,538	233,920
その他	410,390	469,776
販売費及び一般管理費合計	633,929	703,697
営業利益	131,238	203,344
営業外収益		
受取利息	562	354
受取配当金	1,168	914
仕入割引	3,304	—
その他	14,702	10,158
営業外収益合計	19,738	11,427
営業外費用		
支払利息	35,081	40,989
売上割引	17,940	19,350
その他	5,390	5,750
営業外費用合計	58,412	66,089
経常利益	92,563	148,682
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,791	103
投資有価証券売却益	25	—
特別利益合計	6,816	103
特別損失		
固定資産除却損	342	220
子会社株式売却損	—	711
その他	12,534	52
特別損失合計	12,876	984
税金等調整前四半期純利益	86,503	147,801
法人税等	37,878	75,366
少数株主損益調整前四半期純利益	—	72,434
少数株主利益	4,083	9,338
四半期純利益	44,541	63,096

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,164,324	1,417,731
売上原価	771,542	926,231
売上総利益	392,782	491,499
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	118,698	117,841
その他	209,614	249,505
販売費及び一般管理費合計	328,312	367,347
営業利益	64,469	124,152
営業外収益		
受取利息	303	279
受取配当金	148	133
仕入割引	1,689	—
その他	2,936	5,342
営業外収益合計	5,077	5,755
営業外費用		
支払利息	18,015	20,663
売上割引	9,140	9,046
その他	1,833	4,005
営業外費用合計	28,989	33,715
経常利益	40,556	96,192
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,791	—
特別利益合計	6,791	—
特別損失		
固定資産除却損	342	187
その他	5,230	1
特別損失合計	5,573	189
税金等調整前四半期純利益	41,774	96,003
法人税等	7,047	39,769
少数株主損益調整前四半期純利益	—	56,234
少数株主利益	2,165	7,410
四半期純利益	32,561	48,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86,503	147,801
減価償却費	153,951	136,628
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,822	△13,538
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36,291	3,028
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,065	—
受取利息及び受取配当金	△1,730	△1,268
支払利息	35,081	40,989
有形固定資産除却損	342	220
投資有価証券売却損益(△は益)	△25	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	52
子会社株式売却損益(△は益)	—	711
売上債権の増減額(△は増加)	△82,539	△19,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	146,706	41,194
その他の資産の増減額(△は増加)	22,422	△38,996
仕入債務の増減額(△は減少)	29,310	97,334
その他の負債の増減額(△は減少)	59,729	21,246
その他	24,602	—
小計	405,177	415,854
利息及び配当金の受取額	1,964	1,274
利息の支払額	△41,128	△42,553
法人税等の支払額	△26,376	△22,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	339,637	351,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△7,164	△8,816
投資有価証券の取得による支出	△1,717	△95,367
投資有価証券の売却による収入	75	—
子会社株式の売却による収入	—	7,888
その他	△6,218	1,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,025	5,027
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△643,336	△300,000
長期借入れによる収入	600,000	934,000
長期借入金の返済による支出	△121,584	△195,304
社債の償還による支出	—	△300,000
リース債務の返済による支出	△70,370	△67,387
自己株式の取得による支出	△291	△160
配当金の支払額	—	△9,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,582	61,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,029	418,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,007,716	1,074,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,096,745	1,492,484

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,095,724	68,600	1,164,324	—	1,164,324
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,095,724	68,600	1,164,324	—	1,164,324
営業利益	30,012	34,456	64,469	—	64,469

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,046,468	144,489	2,190,958	—	2,190,958
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,046,468	144,489	2,190,958	—	2,190,958
営業利益	50,889	80,348	131,238	—	131,238

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	128,909	15,072	1,639	9,991	155,612
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	1,164,324
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.1	1.3	0.1	0.9	13.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 東アジア……韓国、台湾
 (2) 北中米……アメリカ
 (3) 欧州……ドイツ
 (4) その他……オーストラリア
 3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	215,835	22,729	8,162	24,138	270,866
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	2,190,958
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.9	1.0	0.4	1.1	12.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 東アジア……韓国、台湾
 (2) 北中米……アメリカ
 (3) 欧州……ドイツ
 (4) その他……オーストラリア
 3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャーその他事業」は、主としてゴルフ練習場の運営をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,478,253	128,887	2,607,140	—	2,607,140	2,607,140
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,478,253	128,887	2,607,140	—	2,607,140	2,607,140
セグメント利益	148,100	55,244	203,344	—	203,344	203,344

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,359,980	57,751	1,417,731	—	1,417,731	1,417,731
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,359,980	57,751	1,417,731	—	1,417,731	1,417,731
セグメント利益	104,040	20,111	124,152	—	124,152	124,152

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。